

環境学習を実施しました！

最終処分場の役割や必要性などの理解を深めるため、小学生を対象に環境学習を行っています。

今年は、市比野小学校と樋脇小学校の4年生が、埋立作業の見学や水質浄化実験を体験するなど楽しく学んでいただきました。

エコパークかごしまでは、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、随時、見学者を募集していますので、お気軽にご相談ください！



市比野小学校4年生の皆様

地域振興策について

県においては、エコパーク周辺の地域振興策として、県道百次木場茶屋線の道路整備や準用河川阿茂瀬川の改修工事を行っています。

このうち、阿茂瀬川の改修工事については、阿茂瀬橋の架け替えの工事を行っています。

周辺の皆様方にはご迷惑をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。



阿茂瀬川の改修工事

環境調査結果について

環境保全協定や関係法令等に基づき、周辺の水質等（地下水及び河川水）の測定を実施しています。昨年9月から今年の10月までの調査結果については、これまでと同様、異常は認められませんでした。

調査結果は、「エコパークかごしま」のホームページに掲載しています。



地下水ビット

編集後記

東京オリンピック・パラリンピックが1年延期されるなど多大な影響をもたらした新型コロナウイルス。エコパークでも施設見学の自粛・減少など若干の影響はありましたが、職員への感染や廃棄物の搬入量減少など、運営面での影響は特にありませんでした。引き続き、コロナ対策を行い、安心・安全な施設運営に努めてまいります。

【問い合わせ先】

○公益財団法人鹿児島県環境整備公社
〒895-0033 薩摩川内市川永野町6924番地11
TEL 0996-21-1220
FAX 0996-21-1360

※この「エコパークかごしま通信」は、当公社ホームページ(<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>)でも閲覧いただけます。

エコパークかごしま通信

VOL.29



令和3年12月
公益財団法人鹿児島県環境整備公社
(エコパークかごしま)

「第13回エコパークかごしま安全監視委員会」について



例年8月に開催している「エコパークかごしま安全監視委員会」は、新型コロナウイルスの影響により、10月14日に延期して開催されました。

委員会では、廃棄物の搬入状況や埋立状況、環境モニタリングの実施状況について報告した後、覆蓋施設内の散水や埋立作業の状況を説明しました。

各委員からは、「浸出水原水の水質がこの数年安定しており、順調に安定化が進んでいると感じた。」や「うまく施設全体がマネジメントされていると感じた。」などの意見を、委員長からは、「順調に事業が進んでいることが確認できた。」との意見をいただきました。

廃棄物の受入状況について

平成27年1月の開業から本年10月末までに約22万7千トンの廃棄物を受け入れました。

廃棄物の種類は、多い順に、燃え殻（一般廃棄物を含む）が約46%で約10万5千トン、がれき類（廃石膏ボードを含む）が約18%で約4万トン、汚泥が約13%で約2万9千トンなどとなっています。

廃棄物の種類	搬入量(トン)	割合(%)
燃え殻(一般廃棄物を含む)	105,243.03	46.41
がれき類(廃石膏ボードを含む)	39,793.47	17.55
汚泥	28,894.74	12.74
ガラスくず,コンクリートくず及び陶磁器くず	18,764.02	8.27
ばいじん(一般廃棄物を含む)	15,285.78	6.74
木くず	10,954.55	4.83
廃プラスチック	3,141.33	1.39
13号廃棄物	2,625.90	1.16
銚さい	1,099.88	0.49
動植物性残さ	312.97	0.14
紙くず	250.63	0.11
金属くず	221.97	0.10
繊維くず	190.48	0.08
合計	226,778.75	100.00

教えて！エコパーク先生！



みなさんこんにちは！
 前は「エコパークかごしま」に持ち込まれる産業廃棄物の一部と、
 中間処理施設の「焼却施設」について説明しましたね。

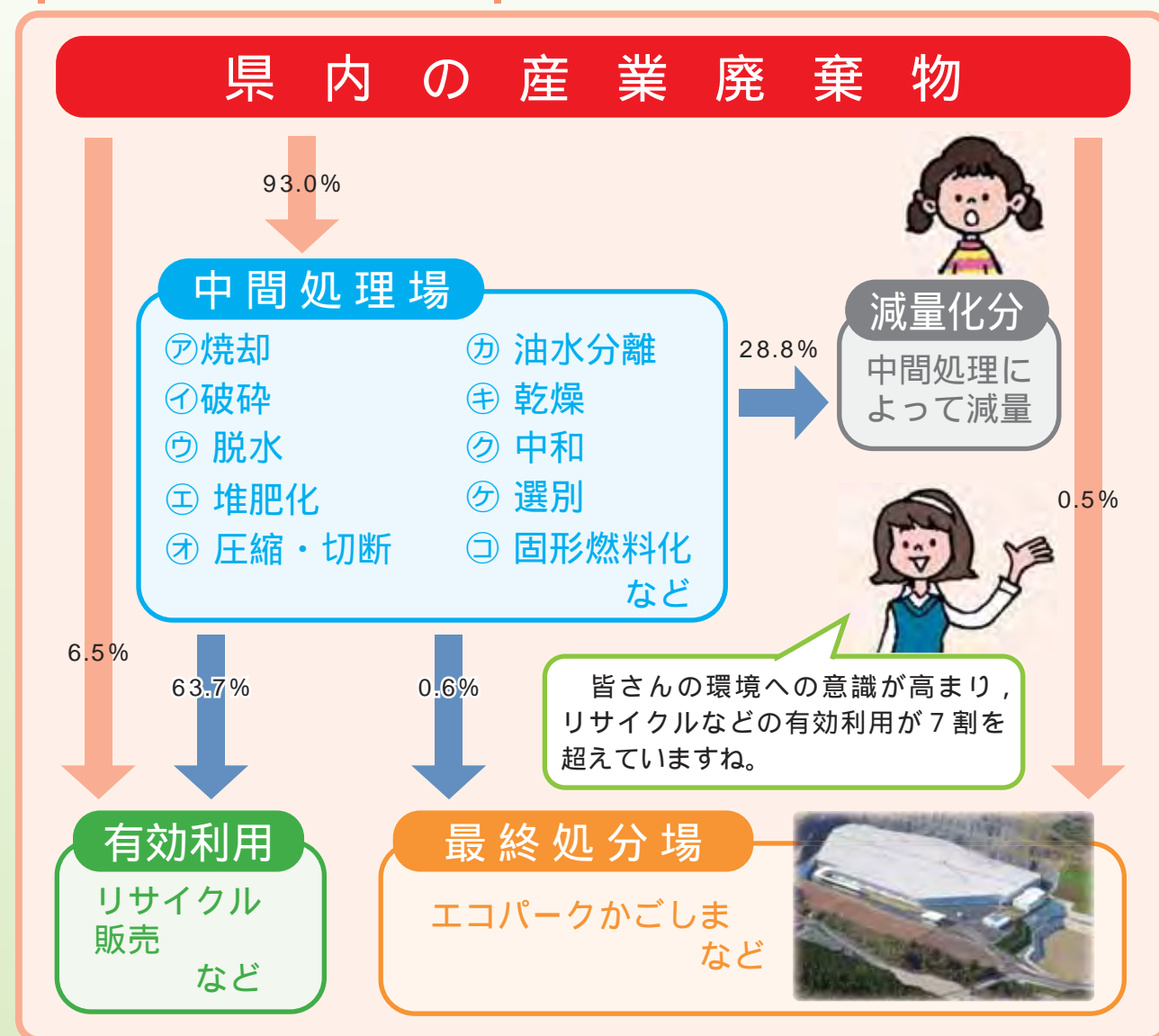
焼却施設で産業廃棄物の量を少なくしてから搬入して
 いたんだよね。

今回はどの施設について教えてもらえるのかな。



今回は下図の中間処理場の中から、①の破碎施設について勉
 強していきましょう。

産業廃棄物の流れ



リサイクルなどの割合が増えたことで、「エコパークかごしま」などの最終
 処分場に持ち込まれる産業廃棄物の割合が減っていますね。

中間処理場の後はリサイクルの割合が多いけど、どう
 なってるの。



そうですね、今回は、破碎施設についての説明と一緒に、破碎された
 後のリサイクルなどの有効利用についても、簡単に説明していくよ。

【① 破碎施設】

破碎施設は、産業廃棄物のサイズを小さくしたり、リサイクルするこ
 を目的とした施設です。破碎施設に搬入される産業廃棄物は、**がれき類**
木くずなどがあります。

リサイクルの例として、がれき類は**道路の再生砕石**、木くずは**発電施設
 の燃料**など、様々な場所で有効利用されています。



廃棄物が破碎された後は、燃料や材料になって私たちの生活にいか
 されているんだね。

そうですね、廃棄物を処分するだけでなく、材料などとして有効利用
 し、リサイクルを推進することで、環境に優しい社会作りが進められてい
 ますね。

